



広報誌で紹介した写真を
希望者に提供します。

●お申し込み●

秘書課広報広聴係 ☎ 3-3069 へ

緊張したけど良い思い出に。川下小で映画のロケ撮影

来年3月に閉校する川下小学校で、映画「^{あめます}雨鱒の川」のロケ撮影が行われました。今回の撮影は、北海道ロケーションサービスを通じて、「当別21夢倶楽部フィルムコミッション」が誘致したもので、主人公の少年時代を、川下・蕨岱小学校の児童など19人がエキストラ出演する中で進められました。

撮影日は晴天に恵まれ、グラウンドを使った体育の授業シーンでは、木造校舎と豊かな自然を取り入れた撮影や、教室での授業の様子が細かいカット割の中行われていきました。児童たちは、緊張しながらもスタッフの指示を受けそれぞれの役柄を演じていました。

映画監督の磯村さんは「校舎の雰囲気や自然環境がよく、のびのびした撮影ができました。これからも撮影は続きますが、出来上りを楽しみにしてください」とにこやかに語り、映画への意気込みが伝わりました。

また、夜には露店が並ぶ当別まつりでの撮影も行われ、エキストラ登録している方々が撮影に協力しました。

この映画は、来春に完成し、全国上映の予定です。

(8月13日)



磯村監督



教室での撮影



当別まつり会場

老人ホームでふれあい体験

町社会福祉協議会が老人ホームでのふれあいや支え合いの大切さを知ってもらおうと募集した、高校生の福祉施設での体験学習。

今回、当別高校3年生の2名が特養老人ホーム当別長寿園での実習に参加し、1泊2日を入所者の方と共に過ごしました。

2人は、入所者の話を聞いたり、食事の介助などで緊張気味でしたが、レクリエーションの手伝いをしながらコミュニケーションが深まり、楽しく実習を行いました。

(7月31日)



中小屋スキー場で野外芸術祭

野外芸術祭実行委員会(山田一博委員長)主催で開催した中小屋スキー場の芸術祭「IYOMANTE」。斜面中腹に設置されたステージでは、二胡の演奏から始まり幅広いジャンルの音楽が2日間を通して鳴り響きました。ゲレンデには道内外で活躍する芸術家のコンクリートや金属の造形作品が自然と融合するようにちりばめられ、訪れた来場者の目を引きました。

また、夜間にはライトアップされた会場がひとときわ幻想的な姿を浮かび上がらせていました。(8月2・3日)



商店街の有志などで作る自由市場実行委員会(大津正一委員長)主催の「3夜連続七夕ビアガーデン」が開かれました。会場となったまちの駅「アウル」には、日中に東・西保育所の子どもたちが野球やサッカー選手、ケーキ屋さんになりたいと夢を書いた短冊を大きな柳に色とりどりに飾りつけました。

七夕飾りが涼しげにゆれる中、初日には札幌の阿波踊りグループが出演し会場を盛り上げ、来場者が一緒に踊りを楽しむなど3日間で訪れた670人は、賑やかな七夕の夜を過ごしました。

(8月5~7日)



七夕の夜に僕と私の願い届くかな?



「地域愛」深めるチャリティイベント

医療大学の学生が行ったチャリティイベントで、「地域愛」を深める催しが2日間に亘り開催されました。本会場の阿蘇公園では、コンサートやアトラクションなど、アウル会場ではフリーマーケットやオークション、高齢者と小学生が作成した巨大紙芝居が披露されました。また、本通り商店街には、学生や子供達など大勢で作ったフォークダンスを踊る大きな輪が揺れました。フィナーレでは大原祐介実行委員長が感動で声を詰まらせながら「当別町町民とこのイベントができてよかった」と挨拶し、24時間テレビのテーマソング「サライ」を会場に集まった全員が合唱する中、最高潮のうちに幕が閉じました。(8月23・24日)

